

美術館のひみつたんけん隊

神戸市立小磯記念美術館

日時
てんじないよう

平成28年7月30日(土)

展示内容

小磯良平作品選 I

—^{ゆさい}油彩—

^{てんじしつ}(展示室1)

^{れんさい}新聞連載小説挿絵原画展

「^{てきれいき}適齢期」(二)

【^{しらかわあつし}白川渥・^{ちょ}著】

^{てんじしつ}(展示室2)

コレクション企画展示

—^{まかくてんじ}絵画の中の“和”—

^{てんじしつ}(展示室3)

オリエンテーション

初めに、今日の活動について、みんなでお話しました。



展示室でみつけよう

^{てんじしつ}展示室にある、^{えいがい}絵以外のものをいろいろ探してみよう。
^{さが}なにをみつけられるかな？



これは^{おんしつどけい}温湿度計と言って、^{おんど}温度と^{しつど}湿度がわかる^{きかい}機械です。「暑くなった、寒くなった」「湿っているか、湿っていないか」がわかるようになっています。ずっと同じになっているか、この機械で見て、チェックしています。

絵を吊っているヒモはワイヤーと言います。重い作品を吊るしても切れないよう、丈夫にできています。ストッパーが付いているので作品の長さにあわせて、高さが調整できます。



美術館のひみつたんけんへでかけよう

しゅうぞうこ 収蔵庫



この大きな^{とびら}扉の中が、美術館の作品を保管している^{しゅうぞうこ}収蔵庫です。この中には、学芸員さんをはじめ、^{かぎ}限られた人しか入ることはできません。



収蔵庫の中は、作品にとって^{さいてき かんきょう}最適の環境であるように、いつも温度と湿度が一定に^{かんり}管理されています。

ここには、小磯さんの作品だけでも約2800点以上、全部で3000点以上の作品が^{ほかん}保管されています。

ろうか 廊下

展示室の裏側にある、廊下へ進みましょう。

ここには絵を展示するために必要な、たくさんの道具が置いてあります。



かなづち、ペンチ、メジャー、水平器などは絵を展示するときには高さをおおきくあわせたり、キャプション（絵の名札）をつけたりするのに使います。

展示室にあった、作品を吊るすワイヤーや、その時に必要なシャトル（移動式の台座）もありました。



けんきゅうしつ 研究室

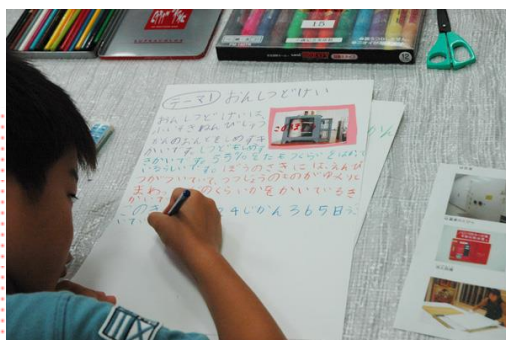
研究室では、学芸員さんが今後の展示会の企画や、調査研究をおこなっています。大きな本棚には、研究のための資料がたくさんつまっています。

学芸員さんに、展示会のポスター構成についてお話を聞きました。



たんけんの成果をまとめよう

写真・絵と文章で、今日見てきた美術館のひみつを画用紙にまとめました。



今日発見してくれたことを、みんな上手にまとめることができました。

